

キャッシュレスの次は通帳も！？

通帳レスのメリット・デメリット



昨年の増税のタイミングで、日本でもキャッシュレス化が進みましたが、それに伴い、最近では紙の通帳を持たない「通帳レス」の動きがみられています。インターネットバンキングを利用している方には既によく知られていますが、今、銀行業界全体で紙の通帳からインターネット上での通帳への移行を促しているようです。今回は「通帳レス」のメリット・デメリットについてみていきたいと思います。

通帳レス化の背景

「通帳レス」とは、その名の通り、紙の通帳を無くすことを指します。代わりに、パソコンやスマートフォンを使って、インターネット上の通帳（銀行によって異なりますが、Web 通帳、Eco 通帳、ネット通帳などと呼ばれています）から口座内の出入金確認ができます。インターネットが普及する昨今、紙の通帳の必要性を問われる様になってきました。

それに伴い、一部の大手銀行が紙の通帳発行に対して手数料を徴収すると発表しました。その背景には、さまざまな狙いがありますが、最大の目的はコスト削減にあると言われています。今まで主流であった紙の通帳は、通帳発行時や交換時の紙代、通帳記入時のインク代、印紙税などの費用がかかっています。実は、印紙税は1口座あたり200円もの費用が発生し、これは銀行側が負担しています。大手銀行では、印紙税だけで年間数十億円に上ると言われており、こうした背景もあり、紙の通帳を廃止する動きが出始めているようです。



通帳レスのメリット

ネット上の通帳に移行することで、私たちにはどのようなメリットがあるのでしょうか。

メ リ ツ ト	✓ 銀行やATMに行って、記帳や繰り越しをする手間がいらぬ
	✓ パソコンやスマホから24時間いつでもチェックできる
	✓ 通帳の盗難・紛失のリスク軽減
	✓ 紙を使用しないため、環境にやさしい
	✓ 銀行によっては、ポイントの上乗せやATM手数料割引などの優遇サービスを利用できる場合がある
	✓ 銀行によっては、取引明細情報をエクセルでダウンロードできるので、家計管理がしやすくなる

通帳レスのデメリット

逆に紙の通帳がなくなり、インターネット上の通帳にした際のデメリットはどんなことがあるのでしょうか。

デ メ リ ツ ト	✓ 過去の取引履歴の閲覧可能期間が制限されている
	✓ データ保存やプリントアウトを自発的に行わないと、履歴が手元に残らない
	✓ ATMでの現金の入出金時にキャッシュカードが必ず必要になる
	✓ ネット上の通帳と紙の通帳は併用できない
	✓ インターネット環境がなければ利用ができないため、苦手な方には手が出しにくい
	✓ IDやパスワードの盗難や流失など、セキュリティへの不安

■ インターネット上の通帳のセキュリティ

前ページのデメリットに、インターネット上の通帳を利用する場合のセキュリティ面の不安を記載しました。確かに設定した ID やパスワードが盗まれてしまうと、不正利用される可能性はありますが、昨今はインターネット上の通帳のセキュリティも日々強化されているようです。

なかでも、ほとんどの銀行で取り入れられているのが、『ワンタイムパスワード』です。

『ワンタイムパスワード』とは…

1度しか使えないパスワードを発行し、一定時間が経過した場合、そのパスワードは利用できなくなる仕組みのパスワード



インターネット上の通帳やネットバンキングなど、インターネット上の取引では、現在は ID とパスワードによる認証に加え、このワンタイムパスワードでの認証をすることで、セキュリティを強化しているようです。万が一 ID やパスワードが他者に盗まれても、ワンタイムパスワードがなければ出金や振込等はできないため、安心です。

他には、最近では生体認証機能が付いたスマートフォンも普及しており、インターネット上の通帳のログイン時に生体認証をしておけば、さらに安心して利用できそうです。

インターネット上の通帳は、インターネット環境が必須の為、パソコンやスマートフォンを使用していない方は利用することができませんし、インターネットに不慣れな方には、逆に不便を感じる可能性もあります。また、長年使い慣れた紙の通帳ならではの便利さを思うと、移行したくない方もいらっしゃると思います。

紙の通帳は、今後減少し、インターネット上の通帳へ移行していくことが予測されますが、自分にとってどちらが向いているのかをよく検討した上で選択し、便利に利用していきたいですね。

